

宮島口商店街

活性化プロジェクト

～宮島工業高等学校 建築科 3年の取組み～

広島県立宮島工業高等学校
建築科 沖野 浩明

広島県立宮島工業高等学校

～ 創立63年～

定員 840名 6学科

機械科

素材システム科

電気科

情報技術科

建築科

インテリア科

学校の特徴



宮島の対岸、廿日市市に位置



実践的ものづくり教育を重視



世界遺産・宮島に隣接する環境



地域貢献活動が盛ん



高大連携プロジェクトを推進



大野みんなのまつり

地域のお祭りに向け、遊具・展示物を設計・製作。住民と協働した空間づくりを実践。



インターハイ会場装飾

中国5県競技マップ・カウントダウンボード・大会スローガン装飾を製作。県立総合体育館など複数会場に設置。



宮島伝建地区保存事業

廿日市市宮島町の伝統的建造物を3D CADでモデリングし、フルカラー3Dプリンターで立体模型を制作。



大野みんなのまつり

地域のお祭りに向け、遊具・展示物を設計・製作。住民と協働した空間づくりを実践。



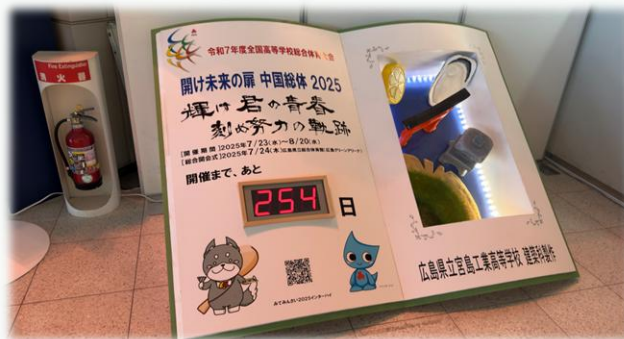


インターハイ会場装飾

中国5県競技マップ・カウントダウンボード・大会スローガン装飾を製作。
県立総合体育館など複数会場に設置。



中国5県競技マップ



カウントダウンボード



メイン会場大会スローガン
県立総合体育館格技場前



陸上競技会場
ホットスタッフフィールド



宮島伝建地区保存事業

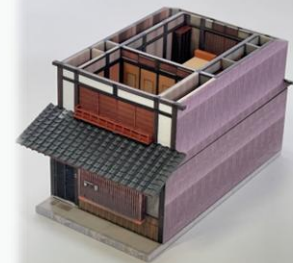
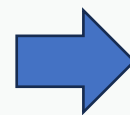
廿日市市宮島町の伝統的建造物を3D CADでモデリングし、フルカラー3Dプリンターで立体模型を制作。



廿日市市宮島町
伝統的建造物群
保存地区



3D CAD



フルカラー3Dプリンター

宮島口とは

JR宮島口駅 ~ フェリー乗り場（棧橋）を結ぶ
約200mの商店街通り

廿日市市長（R8. 1. 14）コメント

497万人 2025年来島者数（過去最高）

75.8万人 外国人観光客数

30周年 2026年世界遺産登録記念

現状の課題

01 通り道化

JR宮島口～フェリー乗り場の道が
ただの「通過路」になっている

02 閑散とした通り

年間約500万人を迎える玄関口なのに
商店街通りが閑散としている

03 魅力不足

棧橋付近では集客できているが、
通りで足を止める魅力が不足

～ 滞在し、関わりたくなる場所へ ～

①



交流・体験ハブの創出

立ち止まりたくなる体験スポットを整備し、観光客と地域住民が交流できる場を設ける

②



ストーリー発掘・デジタル発信

宮島口の歴史・文化資源を掘り起こし、SNSやデジタルサイネージで積極的に情報発信

③



商店街の生活機能向上

地域住民が日常的に利用しやすい環境を整備し、商店街に日常的な賑わいを生み出す

④



協同プラットフォームの構築

民・官・大学・高校が連携する協働体制を確立し、継続的な活性化活動を推進

民・官

宮島口みらい協議会

廿日市市宮島口みなとまちづくり推進課

協同

大学

令和3年宮島工業高校卒

広島工業大学建築工学科4年

石井 沙也加

高校

宮島工業高校

建築科3年 生徒7名



依頼受注



課題解決
の検討



設計
の検討



製作完了
R8年1月



効果の
検証



WAGON × 3

- ✓ 通行者が立ち止まるデザイン
- ✓ EVIに積み込めるサイズ
- ✓ 移動が容易なキャスター付き



DESK × 3

- ✓ 折り畳み・組立が容易
- ✓ ワゴンに載せて移動可能
- ✓ 屋外使用に耐える構造



CHAIR × 12

- ✓ 座り心地の良い天板素材
- ✓ ワゴンに載せて移動可能
- ✓ シンプルで耐久性のある設計

WAGON



CHAIR



DESK





WAGON・DESK・CHAIRを完成

令和8年1月、3種類の木製ファニチャーセットを製作完了・納品



中国新聞に掲載（2/14）

引き渡し時の様子が新聞に掲載され、地域社会からも注目を集めた



設置中にも多くの声掛け

商店街への設置作業中、通行人・地域住民から多くの声援やお声掛けをいただいた



高大連携で意見交換

宮工0Gで広島工業大学に在学する石井さんと、宮島口活性化の方向性について意見交換を実施

商店街に「人の笑顔」「豊かな賑わい」「歩いて楽しむ空間」を届けることができました

2/14 (土)
中国新聞掲載



「宮工」で
宮島口活性化
宮島工高生が屋台寄贈

地元団体に 商売で活用を

廿四市中の宮島工業建築材料の注が、可動式の屋台「宮工」を作り、同市宮島口の事業者や住民でつくる「宮島口まちづくり協議会」に贈った。観光客が行き交うので飲食や物販の営業に活用し、地域の活性化につながるという狙いがある。(八百村耕平)

宮工は木製で高さ80センチ、幅20センチ、奥行き30センチ。屋根と商品棚を置く天板を合わせた高さの本体に、テーブル車、椅子を脚を組み込んだ。3分の1のセットを1台に寄贈した。

宮島の観光客が年々増える中、近年の宮島口は通過点になりがち。JR宮島口駅南の約800メートルの県道が2003年、道路占用許可の基準を緩和する国の「歩行者優先歩道道路」(ほみち)「に指定されたのを機に、協議会が同路に滞在時間を延ばすアイテムを作れないか」と考えた。

24年度の建設費3年分の人が屋台を発売して総計25年度3年分1人が営業をかね、木材を組み立てて完成させた。尾津孝助さん(18)は、多くの観光客を呼び寄せ、宮島口のにぎわいにつながるといっている。

宮工は同協議会が運営する宮島口の情報発信拠点「DOXX」で保管し、3月20日に宮島口である古物市をむけてお披露目。手始めに、地元の喫茶店がメニューを提供する。その後協議会メンバーが週末などに活用する予定。事務局「会費は1万円。観光客で歩まれた人が立ち寄り、宮島口の活性化を一歩増やす足がかりになる。ぜひご利用ください」



設置中にも多くのお声掛けをいただきました



宮工卒の石井さんと宮島口活性化について意見交換

引き続き民・官・大・高が連携

民・官

宮島口みらい協議会
廿日市市みなとまちづくり推進課

大学

広島工業大学建築工学科
(OG石井沙也加さん他)

高校

宮島工業高校 建築科
(次年度生徒へ引き継ぎ)

目指す姿



人の笑顔

商店街が人々の笑顔で
あふれる空間に



豊かな賑わい

年間を通じた
持続的な賑わいの創出



歩いて愉しむ

宮島の玄関口として
誇れる街並みへ

工業高校教育としての取組み

活動を通して感謝の気持ちを育て、
社会貢献の経験を通して、
ものづくり日本の将来を担う

人財を育成する。

ご清聴ありがとうございました

広島県立宮島工業高等学校 建築科 沖野 浩明